

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 岡本硝子株式会社

コード番号 7746 URL <http://www.ogc-jp.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 毅

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレートサービス本部長 (氏名) 阿部 裕

TEL 04-7137-3111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・新聞記者向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,918	△13.9	159	△73.4	143	△71.0	474	6.1
23年3月期第2四半期	3,388	29.2	600	—	495	404.5	446	734.5

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 178百万円 (△63.6%) 23年3月期第2四半期 489百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	29.74	29.71
23年3月期第2四半期	28.03	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,381	1,399	18.2
23年3月期	7,239	1,215	16.0

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 1,341百万円 23年3月期 1,156百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,246	△1.9	420	△51.5	414	△47.9	740	2.4	46.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 岡本光学科技(蘇州)有限公司
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	15,950,540 株	23年3月期	15,941,740 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	416 株	23年3月期	360 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	15,943,878 株	23年3月期2Q	15,941,380 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表等	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報等	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、サプライチェーンの建て直しにより、生産は上向きを見せるなど東日本大震災の影響からの回復は、徐々に進んでおりますが、雇用情勢は、依然として厳しいなど、景気の回復は遅れております。先行きについても、急激な円高の進行、電力供給の制約や海外の景気動向など景気が下振れする懸念を残しています。アメリカ経済は、景気回復が極めて弱くなっており、失業率の高止まりや住宅価格の下落等により、景気が下振れするリスクがあります。ヨーロッパ経済は、景気が足踏み状態にあります。一部の国々の財政に対する先行き不安から金融システムに対する懸念が高まっており、景気低迷の恐れがあります。中国経済は、景気は内需を中心に拡大しているものの、物価上昇による影響が懸念されます。

データプロジェクターは、新興国において教育用途での普及、拡大が続く一方で、米国及びヨーロッパでは需要が弱含みとなっております。当社グループのプロジェクター用反射鏡は、期末のセットメーカーの在庫調整の影響を受けておりましたが、平成23年5月には販売は回復をみせました。その後、世界的な景気への先行き懸念を背景に、平成23年9月には、再び、在庫調整の動きが起こっております。

デジタルシネマ上映システムは、デジタル化による映画配給に伴う費用の削減と3Dで製作される映画タイトルの増加により導入が加速化しております。このため、当社グループのデジタルシネマ用映写機の反射鏡の製造と販売は順調に推移しております。

平成23年3月に発生した東日本大震災により、フライアイレンズと自動車用製品を生産していたガラス溶融炉1基が破損しましたが、後継として新設したフライアイレンズ専用炉が平成23年6月に量産を開始し、主に自動車用製品を生産する炉は平成23年7月に量産を開始しました。しかしながら、新炉の稼働までは、生産能力の低いバッチ式の溶融炉で代替生産を行っていたことから、フライアイレンズは、製造コストが上昇するとともに、生産量は減少いたしました。自動車用製品についても、外注での対応をしたことにより製造費用が増加いたしました。

平成20年2月より操業を停止していた横浜事業所の不動産を平成23年7月に譲渡したことにより、固定資産売却益148百万円を計上しております。

又、平成20年6月より操業を停止していた岡本光学科技(蘇州)有限公司の全持分を平成23年9月に譲渡いたしました。なお、関係会社株式売却益として計上した264百万円には、同社に係る為替換算調整勘定の取崩による特別利益267百万円を含んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高2,918百万円(前第2四半期連結累計期間比13.9%減)、経常利益143百万円(前第2四半期連結累計期間比71.0%減)、四半期純利益474百万円(前第2四半期連結累計期間比6.1%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ①照明事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は408百万円と前年同期と比べ71百万円(14.9%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は42百万円と前年と比べ90百万円(68.1%)の減益となりました。自動車用ヘッドレンズ・フォグレンズは、東日本大震災の影響により受注が減少したこと及び前期のエコカー購入補助制度の反動のため、販売数量が前年同期比で43.8%減少し、売上高は30.6%減少しました。新設のガラス溶融炉が平成23年7月に稼働するまでは、外注に依存したため、製造費用が増加しました。

## ②光学事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は2,024百万円と前年同期と比べ315百万円(13.5%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は390百万円と前年と比べ249百万円(38.9%)の減益となりました。プロジェクター用反射鏡は、教育用途を中心としたデータプロジェクターの需要が底堅く、セットメーカーの在庫調整の影響からの回復が進みましたが、次第に、一段の円高の進行と景気の先行き不安の影響が現れました。販売数量が前年同期比で3.0%減少し、売上高は9.8%減少しました。フライアイレンズは、新設のガラス溶融炉が平成23年6月に稼動するまでの生産能力減少の影響が大きく、販売数量が前年同期比で43.8%減少し、売上高は38.4%減少しました。デジタルシネマ用映写機の反射鏡の販売は引き続き好調でした。

## ③機能性ガラス・薄膜事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は61百万円と前年同期と比べ34百万円(124.7%)の増収となり、セグメント損失(営業損失)は81百万円と前年と比べ3百万円の増益となりました(前第2四半期連結累計期間のセグメント損失は84百万円)。プロジェクター用ガラス偏光子の販売は、増加いたしました。

ガラス偏光子は、プロジェクター用以外の製品開発が遅れております。また、太陽光発電用ガラス部品は、欧米諸国の厳しい財政状況の下、集光型太陽光発電の本格化が遅れることの影響が予想されます。このため、これらの生産設備について78百万円の減損損失を計上いたしました。

## ④その他

当第2四半期連結累計期間の売上高は423百万円と前年同期と比べ118百万円(21.8%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は0百万円と前年と比べ99百万円(99.3%)の減益となりました。紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工と洗濯機用ドアガラスの受注が減少しました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べて142百万円増加し、7,381百万円となりました。

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ14百万円の減少となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が152百万円増加し、仕掛品が108百万円増加した一方で、現金及び預金が146百万円減少し、流動資産その他が179百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ156百万円の増加となりました。機械装置及び運搬具が123百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ142百万円の増加となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ118百万円の増加となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が112百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ160百万円の減少となりました。この主な要因は、長期借入金が174百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は42百万円減少しました。

## (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ184百万円の増加となりました。この主な要因は、利益剰余金が474

百万円増加した一方で為替換算調整勘定が281百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年9月30日に公表しました平成24年3月期の通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日別途公表いたしました「業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成23年9月に岡本光学科技(蘇州)有限公司の全持分を譲渡したことにより、同社を連結子会社から除外しております。なお、同社の事業内容は、光学事業であるプロジェクター用反射鏡ガラス基板への成膜でしたが、平成20年6月に操業を停止しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	908,351	762,308
受取手形及び売掛金	1,159,301	1,311,483
商品及び製品	394,996	439,403
仕掛品	175,059	283,086
原材料及び貯蔵品	56,540	63,013
その他	277,370	98,138
貸倒引当金	△4,970	△5,022
流動資産合計	2,966,648	2,952,411
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,594,847	1,552,248
機械装置及び運搬具(純額)	1,309,906	1,433,151
土地	708,614	708,614
リース資産(純額)	148,702	153,431
その他(純額)	312,174	409,124
有形固定資産合計	4,074,245	4,256,569
無形固定資産	27,558	7,972
投資その他の資産		
投資有価証券	89,795	82,374
その他	82,236	82,812
貸倒引当金	△927	△282
投資その他の資産合計	171,104	164,904
固定資産合計	4,272,908	4,429,446
資産合計	7,239,557	7,381,857
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	374,283	487,250
1年内返済予定の長期借入金	300,008	300,008
リース債務	31,076	45,741
未払法人税等	10,902	4,171
賞与引当金	131,703	88,653
未払金	206,662	192,254
その他	203,550	258,155
流動負債合計	1,258,187	1,376,234
固定負債		
長期借入金	4,348,644	4,173,651
リース債務	136,138	171,591
退職給付引当金	212,254	221,918



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年 9月30日)
資産除去債務	27,307	28,467
負ののれん	12,959	—
繰延税金負債	10,146	10,017
その他	18,421	—
固定負債合計	4,765,871	4,605,645
負債合計	6,024,059	5,981,880
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,761,028	1,762,390
資本剰余金	—	1,361
利益剰余金	△861,690	△387,527
自己株式	△355	△369
株主資本合計	898,983	1,375,855
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,510	△11,616
為替換算調整勘定	259,051	△22,261
その他の包括利益累計額合計	257,541	△33,878
新株予約権	13,043	16,652
少数株主持分	45,930	41,347
純資産合計	1,215,498	1,399,976
負債純資産合計	7,239,557	7,381,857

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	3,388,470	2,918,114
売上原価	2,282,027	2,236,532
売上総利益	1,106,442	681,582
販売費及び一般管理費		
役員報酬	44,637	37,588
給料及び手当	116,356	125,598
退職給付費用	4,038	4,118
減価償却費	23,342	17,986
旅費及び交通費	16,449	20,036
支払手数料	60,473	45,511
運賃	39,615	34,433
賞与引当金繰入額	23,983	13,948
研究開発費	40,563	72,594
その他	136,672	150,271
販売費及び一般管理費合計	506,132	522,085
営業利益	600,310	159,496
営業外収益		
受取利息	137	110
受取配当金	4,114	4,122
負ののれん償却額	15,551	12,959
助成金収入	29,998	30,460
その他	3,546	11,972
営業外収益合計	53,348	59,625
営業外費用		
支払利息	49,674	47,165
為替差損	105,274	25,805
その他	3,364	2,632
営業外費用合計	158,313	75,602
経常利益	495,345	143,518
特別利益		
新株予約権戻入益	4,203	4,393
貸倒引当金戻入額	615	—
固定資産売却益	36,605	148,702
関係会社株式売却益	—	264,466
その他	695	13
特別利益合計	42,119	417,576

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
特別損失		
固定資産除却損	1,939	2,329
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,259	—
投資有価証券評価損	59,653	48
減損損失	—	78,630
その他	3,672	—
特別損失合計	70,524	81,009
税金等調整前四半期純利益	466,940	480,086
法人税、住民税及び事業税	3,404	4,417
法人税等調整額	8,339	1,090
法人税等合計	11,744	5,507
少数株主損益調整前四半期純利益	455,196	474,578
少数株主利益	8,290	415
四半期純利益	446,905	474,162

四半期連結包括利益計算書  
第2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)	当第2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	455,196	474,578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,008	△10,106
為替換算調整勘定	35,408	△286,310
その他の包括利益合計	34,400	△296,417
四半期包括利益	489,596	178,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	484,638	182,743
少数株主に係る四半期包括利益	4,957	△4,582

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	466,940	480,086
減価償却費	232,271	286,416
負ののれん償却額	△15,551	△12,959
貸倒引当金の増減額(△は減少)	968	△593
賞与引当金の増減額(△は減少)	45,433	△43,050
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,954	9,664
受取利息及び受取配当金	△4,251	△4,232
支払利息	49,674	47,165
為替差損益(△は益)	56,417	1,113
固定資産売却損益(△は益)	△36,605	△148,702
固定資産除却損	1,939	2,329
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,259	—
減損損失	—	78,630
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	59,653	48
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△264,466
売上債権の増減額(△は増加)	△264,465	△154,304
たな卸資産の増減額(△は増加)	△78,583	△159,153
仕入債務の増減額(△は減少)	26,329	113,583
その他の資産の増減額(△は増加)	65,172	182,280
その他の負債の増減額(△は減少)	△144,761	△56,873
小計	474,796	356,984
利息及び配当金の受取額	4,251	4,232
利息の支払額	△50,852	△47,624
法人税等の支払額	△9,420	△10,752
営業活動によるキャッシュ・フロー	418,774	302,840
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△3,100	△3,066
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△2,423
有形固定資産の取得による支出	△213,406	△405,172
有形固定資産の売却による収入	27,293	44,100
無形固定資産の取得による支出	△4,019	△2,012
無形固定資産の売却による収入	—	129,800
その他の支出	△4,538	△2,486
その他の収入	1,288	1,311
投資活動によるキャッシュ・フロー	△196,483	△239,950

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	150,000
長期借入金の返済による支出	△154,556	△324,993
株式の発行による収入	—	1,848
自己株式の取得による支出	—	△13
リース債務の返済による支出	△1,575	△18,766
財務活動によるキャッシュ・フロー	△156,131	△191,925
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,309	△11,006
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	52,850	△140,042
現金及び現金同等物の期首残高	685,987	851,951
現金及び現金同等物の四半期末残高	738,838	711,908

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	照明事業	光学事業	機能性ガラス・ 薄膜事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	479,242	2,340,151	27,516	2,846,910	541,560	3,388,470
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	479,242	2,340,151	27,516	2,846,910	541,560	3,388,470
セグメント利益又は損失(△)	133,304	640,148	△84,502	688,950	99,701	788,651

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	688,950
「その他」の区分の利益	99,701
全社費用(注)	△188,341
四半期連結損益計算書の営業利益	600,310

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	照明事業	光学事業	機能性ガラス・ 薄膜事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	408,008	2,024,951	61,831	2,494,791	423,323	2,918,114
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	408,008	2,024,951	61,831	2,494,791	423,323	2,918,114
セグメント利益又は損失(△)	42,585	390,984	△81,272	352,297	671	352,969

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	352,297
「その他」の区分の利益	671
全社費用(注)	△193,472
四半期連結損益計算書の営業利益	159,496

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「機能性ガラス・薄膜事業」において、ガラス偏光子についてはプロジェクター用以外の製品開発が遅れており、又、太陽光発電用ガラス部品については事業の立上がりの遅れにより、経常的に営業損失を計上しております。このため、「機能性ガラス・薄膜事業」に係る資産の帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「機能性ガラス・薄膜事業」セグメントで78,630千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。